



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 大日精化工業株式会社
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 推進機構担当 (氏名) 榊原 俊哉
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3662-7128

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	117,485	9.2	4,626	40.5	5,005	38.6	3,995	34.0
2019年3月期第3四半期	129,373	2.8	7,769	29.4	8,153	29.3	6,052	15.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,746百万円 (26.1%) 2019年3月期第3四半期 3,718百万円 (61.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	215.20	
2019年3月期第3四半期	326.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	191,010	97,155	49.9
2019年3月期	190,701	96,055	49.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 95,339百万円 2019年3月期 94,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		42.50		42.50	85.00
2020年3月期		42.50			
2020年3月期(予想)				42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,000	7.9	6,000	31.2	6,500	29.8	5,000	29.0	269.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	18,613,110 株	2019年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	47,680 株	2019年3月期	47,273 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	18,565,671 株	2019年3月期3Q	18,566,098 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の海外経済は、米国経済は良好な雇用・所得環境が個人消費を下支えしました。中国経済は対米輸出の減少等による景気低迷に底入れの兆しが見えましたが、年明け以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響により再び景気下振れ圧力が強まりつつあります。その他アジア新興国地域においても中国向けの輸出が低迷し景気は減速傾向となりました。日本経済は、輸出の改善が遅れる一方、雇用・所得環境は改善傾向が続きました。

このような経済環境のもとで、当第3四半期連結累計期間の売上高は、車両業界、情報・電子業界向けの売上が低調に推移したことなどにより1,174億8千5百万円（前年同期比9.2%減）の減収となりました。営業利益は46億2千6百万円（同40.5%減）、経常利益は50億5百万円（同38.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億9千5百万円（同34.0%減）の減益となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(化成品事業)

当事業は、塗料・印刷インキ、情報表示・記録用の無機・有機顔料及び加工顔料、繊維用着色剤の製造・販売を行っております。情報表示・記録用顔料は低調に推移しました。また、汎用顔料は堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は183億8千6百万円（同4.7%減）、営業利益は19億5千6百万円（同27.6%減）となりました。

(化学品事業)

当事業は、マスターバッチ、樹脂コンパウンドなどのプラスチック用着色剤、紫外線・電子線硬化型コーティング剤の製造・販売を行っております。車両業界向けの着色剤は、国内・海外向けともに低調に推移しました。コーティング剤は主に情報・電子業界向けが低調に推移しました。海外連結子会社においては東南アジアのコンパウンド事業の業績が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は637億8千2百万円（同11.4%減）、営業利益は33億3千5百万円（同30.4%減）となりました。

(高分子事業)

当事業は、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。産業資材業界向けの特殊コーティング剤が低調に推移致しました。また、海外連結子会社においてもアメリカの事業拠点の業績が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は137億7千6百万円（同8.0%減）、営業利益は23億7千7百万円（同19.8%減）となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは国内の一般包材向けパッケージ関連が不振となりましたが、海外連結子会社においては、インドネシアの拠点の業績が堅調に推移しました。一方、オフセットインキは需要減少が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は213億5千9百万円（同5.9%減）、営業利益は15億5千9百万円（同14.4%減）となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社等への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。

当セグメントの売上高は1億8千万円（同56.3%減）となり、営業損失は1億9千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,910億1千万円となり、前連結会計年度末と比べ3億8百万円増加いたしました。これは、「受取手形及び売掛金」が減少した一方で、「現金及び預金」が増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は938億5千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億9千万円減少いたしました。これは、「支払手形及び買掛金」が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は971億5千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ10億9千9百万円増加いたしました。これは、「その他有価証券評価差額金」や「為替換算調整勘定」が減少した一方で、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年11月8日に公表した以下の数値より変更はありません。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期	157,000	6,000	6,500	5,000

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,515	26,612
受取手形及び売掛金	53,308	50,972
たな卸資産	30,449	29,951
その他	2,360	1,933
貸倒引当金	△86	△91
流動資産合計	109,546	109,379
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,729	14,064
その他(純額)	29,920	32,934
有形固定資産合計	45,649	46,998
無形固定資産		
その他	3,024	2,794
無形固定資産合計	3,024	2,794
投資その他の資産		
投資有価証券	22,348	21,614
退職給付に係る資産	7,012	7,361
その他	3,166	2,896
貸倒引当金	△46	△35
投資その他の資産合計	32,479	31,837
固定資産合計	81,154	81,630
資産合計	190,701	191,010
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,716	26,147
短期借入金	15,184	17,463
1年内返済予定の長期借入金	10,063	9,165
未払法人税等	611	363
賞与引当金	2,293	1,240
関係会社整理損失引当金	4	155
環境対策引当金	80	26
その他	5,349	7,987
流動負債合計	63,302	62,550
固定負債		
長期借入金	16,817	15,951
関係会社整理損失引当金	708	1,245
環境対策引当金	3,058	3,060
退職給付に係る負債	8,936	9,267
その他	1,822	1,780
固定負債合計	31,343	31,304
負債合計	94,646	93,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	68,578	70,995
自己株式	△108	△110
株主資本合計	88,282	90,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,355	8,054
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△1,430	△2,470
退職給付に係る調整累計額	△1,101	△943
その他の包括利益累計額合計	5,821	4,640
非支配株主持分	1,951	1,815
純資産合計	96,055	97,155
負債純資産合計	190,701	191,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	129,373	117,485
売上原価	106,781	98,583
売上総利益	22,591	18,901
販売費及び一般管理費	14,821	14,274
営業利益	7,769	4,626
営業外収益		
受取利息	107	140
受取配当金	339	351
持分法による投資利益	119	142
保険配当金	185	128
その他	479	310
営業外収益合計	1,230	1,074
営業外費用		
支払利息	315	302
為替差損	309	216
その他	221	176
営業外費用合計	847	695
経常利益	8,153	5,005
特別利益		
固定資産売却益	927	111
投資有価証券売却益	2	394
その他	110	161
特別利益合計	1,040	667
特別損失		
固定資産除却損	157	186
関係会社整理損失引当金繰入額	139	740
その他	354	22
特別損失合計	651	949
税金等調整前四半期純利益	8,543	4,723
法人税、住民税及び事業税	1,209	381
法人税等調整額	1,269	359
法人税等合計	2,479	740
四半期純利益	6,063	3,982
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,052	3,995

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,063	3,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,787	△300
繰延ヘッジ損益	14	1
為替換算調整勘定	△609	△915
退職給付に係る調整額	110	158
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	△180
その他の包括利益合計	△2,345	△1,236
四半期包括利益	3,718	2,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,733	2,814
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	19,292	71,988	14,973	22,706	413	129,373	—	129,373
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	331	39	320	0	14,661	15,352	(15,352)	—
計	19,623	72,027	15,293	22,706	15,074	144,725	(15,352)	129,373
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,700	4,789	2,964	1,821	△89	12,186	(4,416)	7,769

(注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用4,416百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	18,386	63,782	13,776	21,359	180	117,485	—	117,485
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	295	35	312	—	12,977	13,621	(13,621)	—
計	18,682	63,817	14,089	21,359	13,157	131,106	(13,621)	117,485
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,956	3,335	2,377	1,559	△191	9,038	(4,411)	4,626

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用4,411百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。